



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 ファイナンス担当 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,988	△0.8	996	37.4	883	11.3	415	10.2
2019年3月期第2四半期	26,207	△0.7	724	△9.0	793	△12.3	376	△32.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 493百万円 (28.0%) 2019年3月期第2四半期 385百万円 (△34.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.15	—
2019年3月期第2四半期	7.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	42,593	31,014	72.0	602.07
2019年3月期	42,945	30,880	71.1	599.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,679百万円 2019年3月期 30,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,476	△0.4	342	134.2	438	88.1	△284	—	△5.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	56,057,474株	2019年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,101,077株	2019年3月期	5,090,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	50,966,048株	2019年3月期2Q	50,968,035株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済状況は、米中通商摩擦を巡る不透明感が続き、海外経済の減速を受けて悪化したものと見られます。また天候も不順で、猛暑や豪雨などの影響により景況感も押し下げられたと思われれます。

小売業界におきましても、天候の影響により、個人消費に少なからず下振れの影響があったと思われれます。またインバウンド需要も政治的な要因などで一旦は鈍化したと見られていますが、消費税増税前の駆け込み需要により9月度が良かったことで、下支えた形となっています。

当社グループの国内事業におきましても、夏期の天候不順により、日照時間が少なかったことでサングラスの需要が落ち込んだことや、猛暑の影響により客数が伸び悩んだものの、消費税増税前の9月度の客数が前年を大きく上回り、売上高も前年を上回る結果となりました。

また、主要子会社であります㈱三城におきましては、不採算店の退店により店舗数は純減していますが、業態別の施策を店舗ごとに見直し、店舗改装などを進めていることから、既存店売上高は前年を上回りました。

なお、当事業年度における㈱三城の退店計画は、新規出店15店舗、退店を45店舗と見込んでおりましたが、出店は18店舗、退店におきましては判断を早めており60店舗ほどになる見込みです。

海外子会社におきましては、改善の兆しが見えてきた韓国法人が再び政治的な要因で事業環境が厳しくなっているものの、東南アジア地域におけるベトナム法人やフィリピン法人は堅調で利益に貢献していることや、中国法人が不採算店の整理をすすめているため売上高が減少しているものの利益は改善したこともあって、海外法人合計としましては、減収増益となっております。

また、国内の医療関連事業におきましては、売上高、利益ともに貢献しており、今後も需要が見込まれることから、確実にすすめているところです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高25,988百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益996百万円(前年同期比37.4%増)、また為替差損の影響もあり、経常利益883百万円(前年同期比11.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益415百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

報告セグメント情報の状況は、次の通りであります。

1) 日本

国内の売上高は23,186百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益971百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

2) 海外

海外の売上高は2,947百万円(前年同期比13.3%減)、セグメント利益24百万円(前年同四半期はセグメント損失137百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ352百万円減少して42,593百万円となりました。これは主に有形固定資産における建物及び構築物が515百万円増加したものの、現金及び預金が958百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ486百万円減少して11,578百万円となりました。これは主に流動負債における1年内返済予定の長期借入金が500百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ133百万円増加して31,014百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が105百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に対して、202百万円増加し、10,506百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は1,102百万円(前年同四半期は1,115百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益744百万円と減価償却費及びその他の償却費408百万円によるものです。

投資活動の結果得られた資金は37百万円(前年同四半期は207百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,069百万円があるものの、定期預金の純増減額の減少による収入1,139百万円と敷金及び保証金の回収による収入201百万円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は897百万円(前年同四半期は479百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出500百万円と配当金の支払額354百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,032	15,073
受取手形及び売掛金	3,198	3,631
商品及び製品	9,500	9,103
原材料及び貯蔵品	1,141	1,016
その他	1,035	1,197
貸倒引当金	△160	△142
流動資産合計	30,747	29,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,878	2,394
機械及び装置(純額)	29	42
工具、器具及び備品(純額)	855	1,035
土地	901	845
建設仮勘定	227	188
その他(純額)	26	21
有形固定資産合計	3,919	4,527
無形固定資産	555	463
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,194	5,044
建設協力金	84	128
繰延税金資産	149	149
その他	2,472	2,576
貸倒引当金	△106	△106
関係会社投資損失引当金	△71	△70
投資その他の資産合計	7,723	7,722
固定資産合計	12,198	12,713
資産合計	42,945	42,593

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,495	1,529
短期借入金	5,203	5,117
1年内返済予定の長期借入金	500	—
未払金	2,120	1,934
未払法人税等	234	335
賞与引当金	70	63
店舗閉鎖損失引当金	6	23
その他	1,439	1,602
流動負債合計	11,069	10,605
固定負債		
役員退職慰労引当金	54	52
退職給付に係る負債	19	19
繰延税金負債	77	71
資産除去債務	565	556
その他	277	273
固定負債合計	995	973
負債合計	12,065	11,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	26,005	26,064
自己株式	△8,645	△8,648
株主資本合計	30,090	30,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	110
為替換算調整勘定	317	422
その他の包括利益累計額合計	444	532
新株予約権	39	39
非支配株主持分	306	295
純資産合計	30,880	31,014
負債純資産合計	42,945	42,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	26,207	25,988
売上原価	8,735	8,403
売上総利益	17,472	17,584
販売費及び一般管理費	16,747	16,588
営業利益	724	996
営業外収益		
受取利息	17	17
受取賃貸料	21	24
受取手数料	5	4
貯蔵品売却益	11	9
協賛金収入	24	20
その他	44	65
営業外収益合計	123	142
営業外費用		
支払利息	18	15
為替差損	13	190
支払手数料	7	8
その他	14	40
営業外費用合計	54	255
経常利益	793	883
特別利益		
固定資産売却益	0	5
持分変動利益	—	7
特別利益合計	0	13
特別損失		
固定資産除売却損	15	65
減損損失	—	61
投資有価証券評価損	—	0
店舗解約損失金	5	4
店舗閉鎖損失引当金繰入額	54	20
特別損失合計	75	152
税金等調整前四半期純利益	718	744
法人税等	339	323
四半期純利益	379	421
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	376	415

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	379	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	△16
為替換算調整勘定	△90	82
持分法適用会社に対する持分相当額	—	6
その他の包括利益合計	5	72
四半期包括利益	385	493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383	504
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	718	744
減価償却費及びその他の償却費	445	408
減損損失	—	61
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	△2
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	35	16
受取利息及び受取配当金	△19	△19
支払利息	18	15
為替差損益(△は益)	0	161
有形固定資産除売却損益(△は益)	15	59
投資有価証券評価損益(△は益)	—	0
持分変動損益(△は益)	—	△7
売上債権の増減額(△は増加)	△69	△245
たな卸資産の増減額(△は増加)	506	469
その他の資産の増減額(△は増加)	8	△147
仕入債務の増減額(△は減少)	△38	87
その他の負債の増減額(△は減少)	△126	△227
その他	△8	△46
小計	1,480	1,320
利息及び配当金の受取額	19	19
利息の支払額	△18	△15
法人税等の支払額	△364	△221
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,115	1,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△12	1,139
有形固定資産の取得による支出	△359	△1,069
投資有価証券の取得による支出	△3	△33
投資有価証券の売却による収入	—	5
敷金及び保証金の差入による支出	△35	△99
敷金及び保証金の回収による収入	235	201
建設協力金の回収による収入	8	11
その他	△39	△116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207	37
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△22	△33
長期借入金の返済による支出	△2	△500
配当金の支払額	△408	△354
その他	△46	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479	△897
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	△40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	376	202
現金及び現金同等物の期首残高	11,276	10,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,653	10,506

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,884	3,323	26,207	—	26,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	74	181	△181	—
計	22,990	3,398	26,389	△181	26,207
セグメント利益又は損失(△)	861	△137	724	0	724

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,080	2,908	25,988	—	25,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	39	145	△145	—
計	23,186	2,947	26,134	△145	25,988
セグメント利益	971	24	995	0	996

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において61百万円であります。